



《将来に向けた取組方針》

TOPPANグループは、将来にわたりあらゆる生命が存続できる持続可能な社会の実現に向け、2021年「トッパングループ環境ビジョン2050」を策定、2023年4月には方針を拡充し、新たなテーマとして「生物多様性の保全」を追加、環境課題への取組をサプライチェーン全体や地域社会との協働で進めていくことを宣言しました。また、「2030年度中長期環境目標」も策定し、生物多様性保全と水の最適利用に関する新たな目標を設定しています。今後バリューチェーン全体で環境課題に取り組み、豊かな自然環境を保全し、将来世代に繋いでいきます。

〈具体的取組み事例〉

(1) 持続可能な原材料調達

- 持続可能な用紙調達、用紙のリサイクル徹底、グリーン購入の促進

(2) 生物多様性保全活動の強化

- 外部の専門家を交えて敷地内の緑地やビオトープの維持管理実施
- 生物多様性教育の実施
(イベント開催、環境NPOや自治体主催の活動への参加等)

(3) 製品・サービスを通じた保全への貢献

- 森林の健全な育成 ～間伐材を使用した紙製品～
- 過度の使用を抑える ～再生複合建材～

(4) イニシアティブへの参画

- 2024年1月、TNFD提言への賛同を表明し、TNFDアーリーアダプターに登録
- 各種団体、イニシアティブへの参画、活動



環境省・自然共生サイトに認定された
総合研究所・ビオトープ (2023.9)



廃木材と廃プラの複合建材
「トッパマテリアルウッド」



間伐材を使用した紙製飲料容器
「カートカン」



経団連自然保護協議会
Keidanren Committee on Nature Conservation
公益財団
経団連自然保護基金
Keidanren Nature Conservation Fund

